

## 大津赤十字病院麻酔科専門研修プログラム

### 1. 専門医制度の理念と専門医の使命

#### ① 麻酔科専門医制度の理念

麻酔科専門医制度は、周術期の患者の生体管理を中心としながら、救急医療や集中治療における生体管理、種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで、国民の健康・福祉の増進に貢献する。

#### ② 麻酔科専門医の使命

麻酔科学とは、人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え、生体の侵襲行為である手術が可能のように管理する生体管理医学である。麻酔科専門医は、国民が安心して手術を受けられるように、手術中の麻酔管理のみならず、術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う、患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである。同時に、関連分野である集中治療や緩和医療、ペインクリニック、救急医療の分野でも、生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし、国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う。

### 2. 専門研修プログラムの概要と特徴

本プログラムの特徴は、多様な手術に対応していることである。大津赤十字病院の外科系標榜科は、一般外科、小児外科、整形外科、呼吸器外科、心臓血管外科、形成外科、耳鼻科、頭頸部外科、泌尿器科、歯科、婦人科、眼科、脳外科。高度救命救急センターがあるので、外傷や熱傷の手術にも対応しているところが大学病院と異なる。

小児外科、形成外科、耳鼻科、NICU(周産期母子医療センター)があるため、小児症例が約1割を占める。

高度救命救急センターがあるため、申し込みから24時間以内に行う緊急手術が約1割を占め、外傷の緊急手術がある。地域の熱傷センターを兼ねているため、形成外科の熱傷手術もある。

当院はペインクリニック学会研修認定施設でもあるので、希望者はペインクリニック専門医からペインクリニック研修を受けることが出来る。緩和医療に関係する神経ブロックも積極的に行っている。集中治療学会研修認定施設ではないが、集中治療専門医が在籍している。希望により指導を受けることもできる。

当院は、地域医療支援病院、がん診療拠点病院、周産期母子医療センター、高度救命救急センター、災害拠点病院として、地域医療を支えている。麻酔科として、災害救助訓練、赤十字救護班活動にも協力している。

本専門研修プログラムは、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し、地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する。麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは別途資料麻酔科専攻医研修マニュアルに記されている。

### 3. 専門研修プログラムの運営方針

研修の最初2, 3年間は、専門研修基幹施設で研修を行う。

地域医療の維持のため3, 4年目のいずれかの段階で、市立大津市民病院、滋賀県立総合病院、公立豊岡病院組合立公立豊岡病院、三菱京都病院、医仁会武田総合病院、京都桂病院、で研修する。各病院間での打ち合わせにより時期と期間を決める。

集中治療研修のため、後半2年のいずれかの段階で、田附興風会北野病院、滋賀県立総合病院、公立豊岡病院組合立公立豊岡病院、京都大学病院で研修する場合がある。時期は病院間での打ち合わせ、プログラム参加者の希望を考慮する。

研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、ローテーションを構築する。

麻酔症例検討は毎日それぞれ指導医と行い、定期的に麻酔科内で検討会を行う。病院全体の症例検討会が定期的に行われているので、参加できる。病院の医療倫理、医療安全、院内感染対策講習会に出席することが必要とされる。

大津赤十字病院研修中は、週2回の抄読会で麻酔科領域の専門的な教科書を読み進め、基本的な知識を身につける。

日本麻酔科学会学術集会、支部学術集会をはじめとする、麻酔科関連学会に参加する。複数回の発表の機会が得られるように指導する。論文発表も指導する。プログラム全部の参加施設が集まる侵襲反応制御研究会が年2回開かれるので、そこで発表、症例検討を行う。

主要な麻酔科学の教科書は用意してある。麻酔科関係の主要雑誌である、

Anesthesiology, British Journal of Anesthesia, Critical Care Medicine、麻酔 また、一般的なNew England Journal of Medicine, Lancet, JAMAなどは電子的にアクセスできる。その他、院内から無料でアクセスできる電子ジャーナルリストは

<http://www.jrc-lib.jp/library/otsu> で確認できる。Anesthesia and Analgesia、臨床麻酔、ペインクリニックを定期購読しているので、紙媒体で図書室にある。その他の雑誌も電子媒体で取り寄せる仕組みがある。専攻医は自己学習できる環境が整えられている。

研修実施計画例

年間ローテーション表の例

	1年目	2年目	3年目	4年目
A	大津赤十字病院	大津赤十字病院	大津赤十字病院、滋賀県立総合病院 (ペイン, 集中治療)、 京都大学病院(集中治療)	田附興風会北野病院、市立大津市民病院、公立豊岡病院 (救急医療、集中治療、産科麻酔)、 三菱京都病院(心臓麻酔)、 医仁会武田総合病院、京都桂病院
B	大津赤十字病院	大津赤十字病院	田附興風会北野病院、市立大津市民病院、公立豊岡病院(救急医療、集中治療、産科麻酔)、 医仁会武田総合病院、京都桂病院	大津赤十字病院、滋賀県立総合病院 (ペイン, 集中治療)、 三菱京都病院(心臓麻酔)、 京都大学病院(集中治療)

週間予定表

大津赤十字病院の例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み	休み
午後	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み	休み
待機			待機			待機	

当直は無いが、緊急手術に対する待機を週に1~2回(月に5, 6回前後)行う。土曜日、日曜日、休日も待機がある。待機翌日は休みでは無いが、夜半過ぎまで働いた場合、翌日勤務軽減をできる限り考慮している。

① 専門研修基幹施設

大津赤十字病院

研修プログラム統括責任者：

篠村徹太郎(麻酔、集中治療、ペインクリニック、緩和医療)

専門研修指導医：篠村徹太郎(麻酔、集中治療、ペインクリニック、緩和医療)

宇賀久敏(麻酔)

吉川幸子(麻酔)

石井孝広(麻酔)

麻酔科専門医 芳川瑞紀(麻酔)

岸本佳矢(麻酔)

岩本 奈穂子(麻酔)

認定病院番号： 305

特徴： 年間2000例前後の麻酔管理症例のうち高度救命救急センター経由患者が7～10%を占める。周産期母子医療センターにNICUがあるため患者層は生後1日目から100歳超までと幅広い。外科、小児外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、形成外科、泌尿器科、歯科口腔外科、脳外科、産婦人科の手術がある。外傷の緊急手術もある。ペインクリニック学会指定研修認定施設、がん診療連携拠点病院なので、緩和神経ブロックも学べる。硬膜外から末梢神経ブロックまで神経ブロック併用率が高い。集中治療専門医が在籍しているので希望者は集中治療も学べる。バランスの取れた麻酔科医を育成する。

専門研修連携施設A

② 1. 公益財団法人 田附興風会医学研究所 北野病院

研修プログラム統括責任者：加藤 茂久

専門研修指導医：加藤 茂久(麻酔)

足立 健彦(麻酔、集中治療)

宮崎 嘉也(集中治療)

黒寄 明子(麻酔)

原 朋子(麻酔)

前川 俊(心臓血管麻酔、集中治療)

柚木 圭子(麻酔)

直井 紀子(麻酔)

村田 裕(麻酔)

専門医： 中村 緑(麻酔)

中辻 史織(麻酔)

辻 和也(麻酔)

認定病院番号 65

特徴： 地域医療支援病院。大阪市北区で中心的な役割を果たす病院であり、年間約3600の非常に多様な手術を行っており、心臓血管外科、小児外科を含むほぼ全ての領域

に関して手術麻酔の研修が可能であり、12名の専門医の下で十分な余裕を持って研修を積むことができる。心臓血管外科麻酔（経食道心エコー）、小児麻酔、超音波ガイド下神経ブロックなどはそれぞれ専門とする指導医の指導を受けることができる。科内でのカンファレンス、レクチャー、抄読会も定期的に行っており、勉強の機会には事欠かない。また専攻医の学会発表や院外研修を科として積極的にサポートしており、機会は豊富である。麻酔科が主体となって集中治療部（ICU）を運営しており、日本集中治療医学会専門医研修認定施設、心臓血管麻酔専門医認定施設でもあるので、十分な集中治療研修、心臓血管麻酔研修を行うことができる。

専門研修指導 医の 所属人数（人）	本プログラム 専門医研修指 導医 按分後の人数 （人）
9	0.1

麻酔科管理症例数					
麻酔科管理 全症例数	小児 (6歳未満)	帝王切開術	心臓血管手 術	胸部外科手 術	脳神経外科
3624	181	228	47	177	197

### ③京都大学医学部附属病院

研修実施責任者：江木 盛時

専門研修指導医：江木 盛時（麻酔，集中治療）

溝田 敏幸（麻酔，集中治療）

甲斐 慎一（麻酔，集中治療）

川本 修司（麻酔，ペインクリニック）

瀬尾 英哉（麻酔，集中治療）

加藤 果林（麻酔）

木村 聡（麻酔，集中治療）

辰巳 健一郎（麻酔，集中治療）

松川 志乃（麻酔，心臓血管麻酔）

橋本 一哉（麻酔，集中治療）

武田 親宗（麻醉，集中治療）  
 廣津 聡子（麻醉，集中治療）  
 池浦 麻紀子（麻醉）  
 専門医 : 白木 敦子（麻醉）  
 宮尾 真理子（麻醉）  
 山田 瑠美子（麻醉，心臓血管麻醉）  
 山本 菜都美（麻醉）  
 南迫 一請（麻醉）

認定病院番号： 4

特徴：すべての外科系診療科がそろい、数多くの症例の麻醉管理を経験することができる。肝移植、肺移植、人工心臓植込み手術、経カテーテル大動脈弁留置術、覚醒下開頭術などは他院では経験することが難しい手術であり、経験豊かな指導医のもとでこれらの特殊な手術の麻醉管理を修得することができる。集中治療部研修では、重症患者の全身管理を身につけることができる。

専門研修指導 医の 所属人数（人）	本プログラム 専門医研修指 導医 按分後の人数 （人）
13	0.1

麻醉科管理症例数					
麻醉科管理 全症例数	小児 (6歳未満)	帝王切開術	心臓血管手 術	胸部外科手 術	脳神経外科
6033	361	160	266	407	295

#### ④三菱京都病院

研修実施責任者：大東 豊彦  
 専門研修指導医：大東 豊彦（麻醉）  
 笠井 俊宏（麻醉）  
 認定病院番号： 572

特徴：弊院は三菱自動車工業株式会社が運営する病床数188の所謂企業立病院です。麻酔科専門医取得に必要な心臓外科症例（Ⅰ群とⅡ群）を年間約100～140件（TAVIを含む）ならびにほぼ同数の帝王切開を麻酔管理しております。また、循環器疾患を有する非心臓手術症例の麻酔管理も多いです。その他には消化器外科、歯科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科があります。規模が小さいので、きめ細やかな指導が出来ると自負しております。病院全体としては風通しは良好で、外科系は言うに及ばず各科の垣根は比較的 low、連携は円滑です。

専門研修指導 医の 所属人数（人）	本プログラム 専門医研修指 導医 按分後の人数 （人）
2	0.1

麻酔科管理症例数					
麻酔科管理 全症例数	小児 (6歳未満)	帝王切開術	心臓血管手 術	胸部外科手 術	脳神経外科
1441	1	72	115	47	0

⑤医仁会武田総合病院

研修実施責任者：瀬川 一

専門研修指導医：瀬川 一（麻酔、集中治療）

矢澤 智子（麻酔）

羽原 利枝（麻酔）

中村 久美（麻酔）

認定病院番号：648

特徴：地域密着型の急性期総合病院である。ほぼすべての外科系診療科を有しているため、各科の予定および緊急手術の麻酔及び集中治療室における患者管理を学ぶことが出来る。

⑥ 地方独立行政法人 市立大津市民病院

研修実施責任者： 橋口 光子  
 専門研修指導医： 橋口 光子（麻醉）  
 神原 恵（麻醉）  
 森 由美子（麻醉）  
 永井 裕子（麻醉）  
 片岡 麻子（麻醉）  
 中西 昌恵（麻醉）  
 饗場 千夏（麻醉）

認定病院番号：287

特徴：県内で中心的な役割を果たす手術施設をもつ。外科系各科が揃っており、緊急手術も多い。集中治療専門医研修施設であり、集中治療領域の専門研修も可能である。地域医療支援病院・災害拠点病院。

専門研修指導医の所属人数（人）	貴プログラム専門医研修指導医 按分数（人）
7	0.1

麻酔科管理症例数					
麻酔科管理全 症例数	小児（6歳未 満）	帝王切開術	心臓血管手 術	胸部外科手 術	脳神経外科
1446	3	0	31	63	23

⑦ 滋賀県立総合病院

研修実施責任者： 疋田訓子  
 専門研修指導医： 疋田訓子（麻醉）  
 森 浩子（麻醉）  
 田辺寛子（麻醉）  
 後藤 渉（麻醉）

認定病院番号：347

特徴：都道府県がん診療連携拠点病院であり、外科系ほぼ全科の手術がある。心臓血管外科を含め多くの緊急手術に対応している。また、手術室だけでなく集中治療部やペインクリニック、緩和ケアなどサブスペシャリティ部門も担当する。



麻酔科管理症例数					
麻酔科管理全 症例数	小児（6歳未 満）	帝王切開術	心臓血管手 術	胸部外科手 術	脳神経外科
2834	6	0	54	179	23

### ⑧京都市立病院

研修実施責任者：角山 正博

専門研修指導医：角山 正博（麻酔、ペインクリニック）

白神 豪太郎（麻酔、集中治療）

佐藤 雅美（麻酔）

萬代 裕子（麻酔）

大西 佳子（緩和ケア、ペインクリニック）

下新原 直子（集中治療）

森島 史織（麻酔）

野口 英梨子（麻酔）

石井 真紀（麻酔）

専門医： 深見 紀彦（麻酔）

成田 葉月（麻酔）

南野 園子（麻酔）

青山 典子（麻酔）

小原 淳平（麻酔）

認定病院番号： 127

特徴：主要な外科系診療科がそろっており、バランスよく多彩な症例の麻酔研修を行うことができる。集中治療、緩和ケアの研修も可能である。

専門研修指導 医の 所属人数（人）	本プログラム 専門医研修指 導医 按分後の人数 （人）
9	0.1

麻酔科管理症例数					
麻酔科管理 全症例数	小児 (6歳未満)	帝王切開術	心臓血管手 術	胸部外科手 術	脳神経外科
3133	43	28	0	141	42

専門研修連携施設B

⑨4. 公立豊岡病院組合立豊岡病院

研修実施責任者：正田 丈裕

専門研修指導医：正田 丈裕（麻酔）

蔭山 成（麻酔）

認定病院番号： 434

特徴：ドクターヘリで救急患者を搬送して24時間体制で受け入れ、但馬地域唯一の総合病院として、京都府北部から鳥取県の一部まで含めた医療圏をカバーしている。外科系各科も充実しており、乳幼児から超高齢者まで幅広い年齢層の患者の麻酔管理を経験できる。救命救急センターや周産期医療センターも併設しているため、緊急手術症例の麻酔を数多く経験できる。

専門研修指導 医の 所属人数（人）	本プログラム 専門医研修指 導医 按分後の人数 （人）
2	0.1

麻酔科管理症例数					
麻酔科管理 全症例数	小児 (6歳未満)	帝王切開術	心臓血管手 術	胸部外科手 術	脳神経外科
2323	29	120	57	65	107

⑩京都桂病院

研修実施責任者：小山 智弘

専門研修指導医：小山 智弘（麻酔、心臓血管麻酔）

上田 裕介（麻酔、心臓血管麻酔）

田尻 美穂（麻酔、心臓血管麻酔）

専門医：住谷 絵未里（麻酔、心臓血管麻酔）

認定病院番号： 975

特徴：外科系のほとんど全ての診療科が揃うため様々な手術の麻酔を経験することができる。消化器、呼吸器、心臓血管センターを有し、各領域の手術症例が豊富であり、日々の研修で麻酔専門医に必要な知識と技術を身につけることができる。消化器外科、泌尿器科、産婦人科、呼吸器外科においてロボット支援手術が行われている。スタッフのうち1名が心臓血管麻酔領域の専門医、全員がJB-POT認定歴があり、心臓血管麻酔はマンツーマン指導体制のもとトレーニングすることができる。

専門研修指導医の所属人数（人）	本プログラム専門医研修指導医按分後の人数（人）
3	0.3

麻酔科管理症例数					
麻酔科管理全症例数	小児（6歳未満）	帝王切開術	心臓血管手術	胸部外科手術	脳神経外科
2,166	5	5	112	194	54

#### 4. 募集定員

3名

(\*募集定員は、4年間の経験必要症例数が賄える人数とする。複数のプログラムに入っている施設は、各々のプログラムに症例数を重複計上しない)

#### 5. 専攻医の採用と問い合わせ先

##### ① 採用方法

専攻医に応募する者は、日本専門医機構に定められた方法により、期限までに志望の研修プログラムに応募する。

##### ② 問い合わせ先

本研修プログラムへの問い合わせは、電話、e-mail、郵送のいずれの方法でも可能である。

大津赤十字病院 麻酔科部長 篠村徹太郎

滋賀県大津市長等1-1-35

TEL 077-522-4131

E-mail tshinomura@nifty.com

Website <https://www.otsu.jrc.or.jp>